



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。
…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時
Web URL：http://www.yamasaki-yato.sakura.ne.jp E メールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

6/17 青空自主保育やんちゃおの湿地復元作業

湿地 稲、田んぼ、どこもかしこも草だらけ!



昔はすべて田んぼだった谷戸の底地に、水辺を残してトンボやドジョウを増やしたいと湿地復元作業に精を出しています。また、青空自主保育や体験学習に訪れる子どもたちが裸足でのびのび遊べるように、小川の草刈りも欠かせません（5p参照）。ウィークデイのお手伝い作業も大歓迎です。

もくじ

- ☆各班からのお知らせ→2・3p
- ☆谷戸の自然だよ！→4p
- ☆谷戸往来→5p
- ☆10周年記念フォーラム座談会①→6～9p
- ☆谷戸の体験学習→10・11p
- ☆7～9月の日程表(裏)

山崎・谷戸の会 ロゴマーク募集

見ただけで活動がわかるような楽しいロゴを求めています。多数の応募をお待ちしています。

- 締め切り 2016年7月31日(当日消印有効)
- 応募方法 お名前、住所、電話番号を明記の上、メールまたは郵送で(ホームページを参照ください)
- 発表 会報75号にて ●お礼 谷戸味わいセット

各班からのお知らせ



田んぼ班

★7/3(日)田の草取り・苗床片付け ★10(日) 田の草取り、17(日)、18(月・祝)、30(土) ★31(日) 土手の草刈り・田の草取り

6月の3週にわたり、たくさんの方の参加者を迎え、無事に田植えを終えました。みなさんお疲れさまでした。引き続き、早くも生え始めた田の草取りが始まっています。炎天の下、田を吹き渡る風に一息つきながらの作業です。



6/4 田植え



畑班

★7/3(日)にんじんの種蒔き ★10(日) さといもの草取り・土寄せ
★17(日)、24(日) 草取り・土寄せ ★31(日) さつまいもの草取り・つる返し

活動日のお天気が5月の連休以降、香しくなく、小雨や雨の中を縫っての作業が続いていますが、大麦や小麦の収穫をすませてほっとしています。今年もさつまいもの苗床からたくさんの方の苗を取ることができ、無事に植付けました。秋の収穫が楽しみです。夏に向けての作業は、野菜の土寄せや草取りなど、大事な仕事が続きます。そんな作業の合間に眺める田植え後の景観は、とても爽快な気分してくれます。



6/19 たのくろ豆の種蒔き



こんにゃくの花



雑木林管理班

★7/3(日) 土手の手入れ ★10(日)土手保全のための草刈り
★17(日)草刈りをして堆肥を作る
★24(日)土手の草刈り ★24(日)雑木林の下草刈り

田植え作業も終わり、主な作業は雑木林の下草刈り、土手や水路の草刈りが中心となります。

今年は田んぼ周辺の柵直しも行います。冬に行った北側の約3倍の距離の柵を直しますが、稲刈り前には完成させたいと思っています。



6/19 土手の手入れ



農芸班

★7/20(水)梅干し作り②(赤ジソ仕込み)
★8/3(水)梅干し作り③(天日干し)

長い長い竿を梅の木の枝の中に入れて、激しく揺らすと、鈴なりに実った青梅がぽたぽたと落ちてきました。参加者の頭や背中にも落下して「痛っ！」と賑やかな声と笑顔が溢れました。

塩漬けが終わり、梅仕事は始まったばかりですが「谷戸の梅干し」が完成するまでの待っている時間も楽しみの一つです。



6/15 梅の収穫



自然遊び班

6/5(日)「竹を使って昔あそび」は雨

のため中止となりました。6/19(日)里山探検隊は「谷戸しごと」で、畑班の作業のお手伝いをしました。畑の耕し、たのくろ豆の種蒔き、さつまいもの苗植えをしました。びっしりと生い茂ったひぎ上ほどの草を、手で抜いたり、スコップで掘りあげたり、シャベルで掘り返したりしました。なかなか思うように抜けない草も、角度を変えると意外とすっと抜けたり

することもあり、自分で体験して初めてわかることを子どもたちは経験しました。また畑の大敵である「コウブシ」をとるにもコツがいることを知り、実践しました。たのくろ豆の種蒔きは、昨年同様、1粒ずつ丁寧に蒔きました。苗床で育てたさつまいもの苗を畑に植えました。

<子どもたちの感想>★たくさん草をとってあせをかきました。(小5橋本幸奈)★ざっそうをぬくのがつ



たのくろ豆の種蒔き

かれたけどなんだかたのしかった。(小1あし田みさき)★ねぎさをおおきなスコップでほりかえすと「ブォコ」という音がしました。あと、「こうぶし」をほりかえす時は「コリッ」という音がしました。それをいっしょにほりかえすといい音がしました。おもしろかったです。(小4景山豊作)★ともだちができた。たのしかったです。(小1まるやまみどりこ)



畑の手入れ

☆ 子どもお泊り里山体験(対象小学4~6年生) ☆ 7/31(日)~8/1(月)

農作業やかかし作り、かまどで炊飯など、昔ながらの暮らしの体験をします。

詳細は「広報かまくら」7月1日号に掲載します。(公財)鎌倉市公園協会にて申し込み受付を行います。



生態系保全班

★ 7/2(土)、16(土)夜の自然観察 ★ 7/27(水)水路の生きもの観察



6/8 湿地の手入れ

農家風休憩舎横の湿地の水位が上がり、生きものが住みやすいように、排水溝の水漏れを防ごうと頑張っています。暫定的に土を盛り、少し水深が深くなりました。



ギンヤンマの産卵

作業しているそばからトンボが飛んできて、産卵しました。もう少し深くしたいのですが、何度直してもすぐに水漏れします。どのようにしたらよいか、知恵を出し合っています。



植物育成班

★ 7/6(水)田の植物観察 ★ 8/10(水)ツル植物の除去作業

雑草で覆われる前に、野草畑の手入れをしました。ヨモギとメハジキなど、似たような植物を見分けながら手入れをしていくには、野草を見極める力が必要です。慣れてくると違いがわかり、楽しくなってきます。

雑木林管理班に土手の草刈りをしてもらう前に、大切な植物がわかるようにマークしたり、周辺の草を刈ったりしています。



6/15 野草の手入れ

谷戸の自然だより

～生態系から見た、里山の手入れ 谷戸の田んぼ その2～

③平野ではなく、林に囲まれた（谷戸）田んぼは生きものが豊か

畑の場合と同じく、田んぼが畑や雑木林に隣接していることで、生きものにとって相乗効果があります。カエル、トンボなど多くの生きものが田んぼで生まれ育ち、親になると雑木林や畑の環境を利用します。

④区画により生きものが違う

複雑な畔で区切られた不定型な田んぼが、谷戸らしい曲線美の田んぼ景観を作っています。機械で四角形に整地された田んぼにはない、心安らぐ風景です。昔の人が、地形に合わせて、水が均一に入るように田んぼを作った結果です。田んぼの区画によって水源が異なるため、それぞれ異なる豊かな生態系ができています。例えば「山田」と呼ばれる区画は、水路からの取水口があるので、ホトケドジョウのような水路の生きものがやってきます。「大田」は冬に乾きやすいため、赤とんぼ（アキアカネ）の幼虫が多く生息します。「仲通」は乾きにくいためか、ミズオオバコなど貴重種（田んぼの雑草ですが）が生えます。「深田」は山よりにあり、山の絞り水だけで潤されている田んぼです。水路の影響を受けないので、オタマジャクシが流されることなく生き残り、生きものが多いい区画です。谷戸の田んぼの複雑な自然環境は、機械化で整備された田んぼや「トンボ」池のような人工的なビオトープで再現することは難しいでしょう。手作業で昔ながらの田んぼを継承することに、計り知れない意義があるのです。

●田植えと生きもの

①稲株の効果

梅雨時、やっと田植えまで終わらせて、ほっとした気分で苗が生長していくのを見守る季節です。夜の自然観察ではアマガエルの合唱が賑やかですが、産卵は稲の苗と関係しています。アマガエルは泡のように小さな卵を水中に産みますが、とても小さな卵塊（見つけるのは非常に困難です）なので、何かに付着させて産む必要があるようです。その際、植えられたばかりの稲株が絶好の産卵場所になるようです。今年はアマガエルの産卵が少ないようですが、注意深く探すと、ゴマ粒のように黒くて小さい、オタマジャクシが無数に田んぼを漂っている姿が見られるかもしれません。

誰でも見つけやすいのが、トンボのヤゴが羽化（成虫になること）した跡でしょう。まるでセミ殻のように、稲株にヤゴの羽化殻が残っています。シオカラトンボの仲間（オオシオカラトンボ、シオカラトンボ）と、赤トンボ（アキアカネ）の羽化殻が多く見られます。羽化殻に泥がついていて眼が小さければシオカラトンボの仲間、泥が付いてなく眼が大きければ赤トンボ（アキアカネ）です。ヤゴがトンボになるためには、何かにつかまって脱皮しなければなりません。その際、稲株がとても役立っていると思われます。

また、貝の仲間、ヒメモノアラガイやサカマキガイが稲株に群がっているのも見かけます。何のためかはわかりませんが、稲株に付着したものを食べているのかもしれません。あまり知られていないようですが、この他にも、稲株が生きもののために役立っていることがたくさんありそうです。

山崎の夏まつりに参加します

7月17日(日)開催

約400年の歴史をもつ地元の伝統的なお祭りです。毎年当会から、神輿の屋根上の鳳（おおとり）にくわえさせる稲を提供しています。神輿の担ぎ手としても参加しています。



『谷戸の自然だより』発刊！

2004年の当会発足以来、会報に連載している「谷戸の自然だより」を10周年の記念として、2012年までの46回分を1冊にまとめました。「谷戸の生態系と景観の保全」を、主に生きもの（動植物）に視点を向けて、季節ごとに解説したものです。

☆ご希望の方は事務局まで☆

A4サイズ・42頁 頒価500円



谷戸往来

谷戸往来 谷戸往来

登録団体を紹介します

当会では、いろいろな団体が保全活動に参加しています。主な団体を紹介します。ホームページでも随時、団体紹介を掲載していきますのでご覧ください。

● 青空自主保育団体 やんちゃお、なかよし会、にこにこ会、なないろ、あおぞら

お父さんお母さんが、泥んこになってたくさんの保全活動に取り組んでいます。谷戸まつりなどでもスタッフとして大活躍です。今年も、6/5 にこにこ会 6/12 やんちゃお 6/26 なかよし会と、保全活動が行われました。【にこにこ会・感想】★自然豊かな谷戸を守るお手伝いがほんの少しだけでも出来てうれしい気持ちになりました。(杉本)★初めての湿地作業で泥んこになり、にこにこ会の子どもたちの気持ちが少し分かったような気がして楽しかった。(栗崎)★疲れたけど黙々と泥にまみれての作業。我が子に「お父さん見たよ」と言われてさらに嬉しかった。(加藤)【やんちゃお・感想】★湿地がきれいになるのを見るとやっぱりうれしいです。(橋本)★湿地に住む生き物を見て、やっぱり湿地って必要なんだな～と感じました。(今岡)★田植えでは、自主保育以外から来られている方と楽しくお話しできました。(市川)

● かまくらレンジャーズ

認定NPO法人自然環境復元協会主催で、身近な自然を守る活動に興味のある若者が、月に1度汗を流しにやってきます。都会勤めの参加者も多く、谷戸の自然に癒され、よいリフレッシュになっているそうです。



6/26 なかよし会
水路の草刈り

総会、無事終わる！ 6/5(日)

総会では、全ての議案が承認されました。懇親会では、新会員や新団体の方々も交えた和やかな交流会になりました。また、とれたての玉ねぎサラダやおやき、梅おにぎりを振る舞い、どれも好評でした。



6/5にこにこ会 湿地復元作業

小中学校などによる谷戸の体験学習開始 4月～2月まで

今年も、鎌倉市内の小中学校の体験学習の受け入れが始まっています。10 数年来通い続けている深沢小学校5年生の「谷戸田での米作り」は年間7回、4年目となった富士塚小学校5年生の「谷戸田での米作り」は年間9回、11年目となった教育支援教室「ひだまり」の生徒には「昔ながらの畑」を年 10 回、昨年は実施されなかった御成中学校1年生の「谷戸の里山保全作業」は年3回、実施の予定です。既に5年生の米作りは順調に進んでいて、毎号会報に感想文を掲載していますのでご覧ください。また、今年も西鎌倉幼稚園の園児が事務局員の立ち合いで田んぼの生きものを観察しました。



6/9 富士塚小学校 苗取り